データ抽出:院内感染対策室
コメント作成:院内感染対策室

平均在院日数とMRSA保菌率

目的

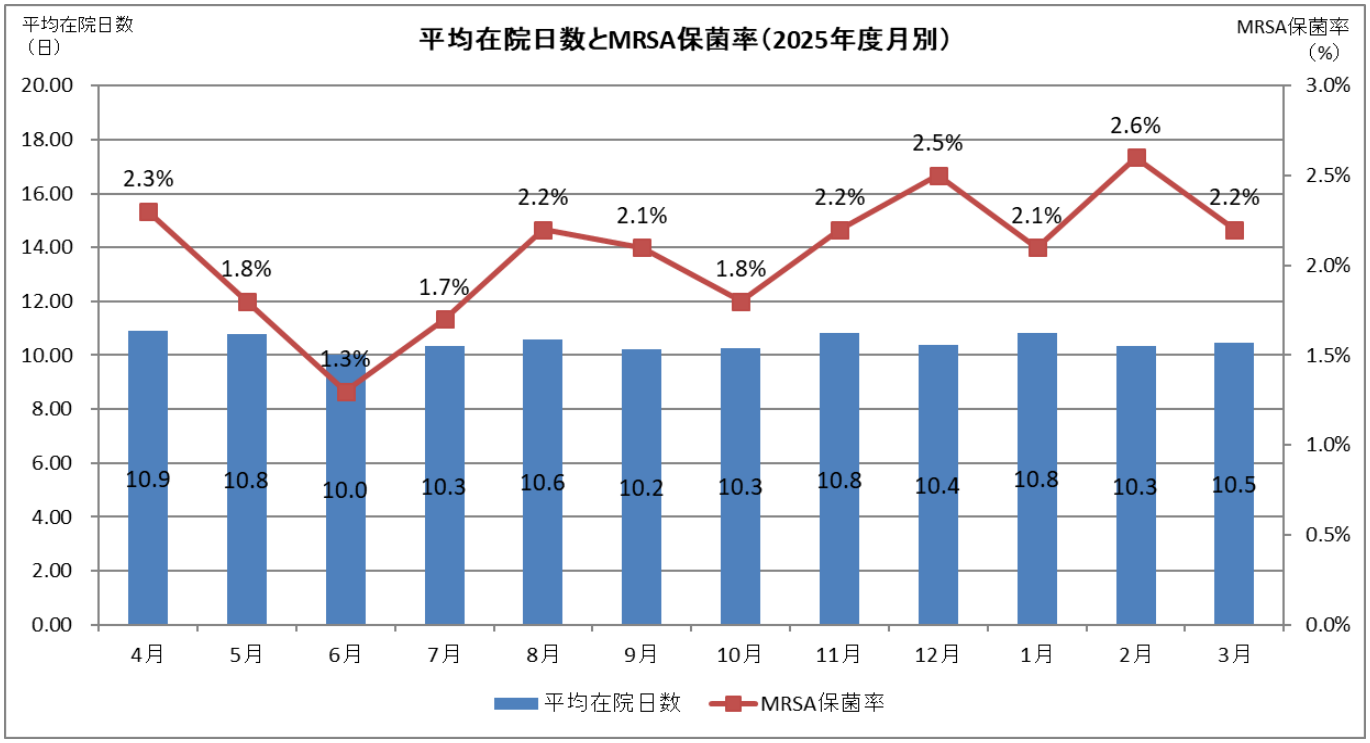
平均在院日数とMRSA保菌率で院内感染把握

分母

当月の入院患者総数

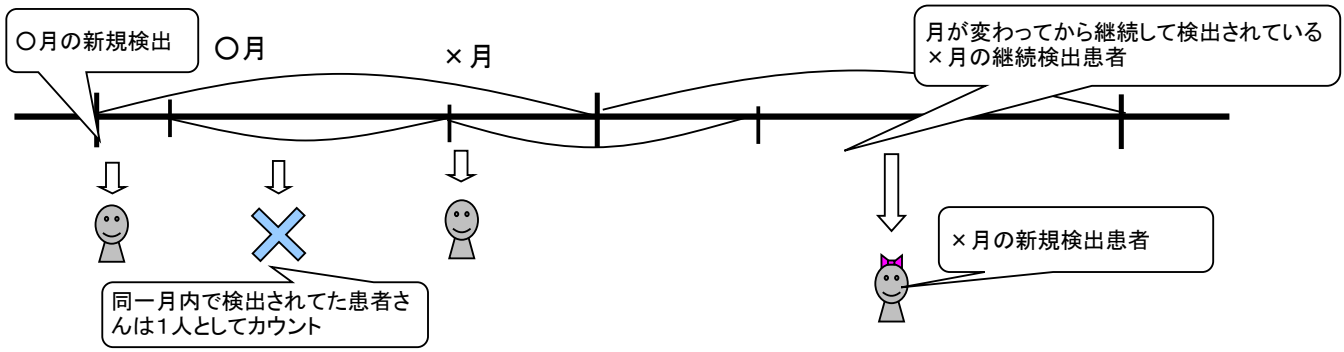
分子

当月のMRSA検出患者数(継続患者数＋新規患者数)



データ抽出内容

MRSA検出患者数は当月にMRSAが検出された患者人数を1人と数え、同月に複数回、同一患者より検出された場合も1人として計算している。



データ分析コメント

グラフは、当院での平均在院日数とMRSA保菌率の推移を表したものです。平均在院日数が長いほどMRSA保菌リスクが高まるとされています。保菌率には、入院後48時間以内に検出されたMRSA「(外からの)持ち込み」が約20～50%含まれています。当院の平均在院日数に大きな変動はなく、10日前後で推移しています。MRSA保菌率は各月多少の変動はありますが、2%前後で推移しています。
積極的なスクリーニング検査の実施により、市中からの持ち込みを早期に捕捉できていることが、現在の数値に現れていると考えられます。